

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第220号

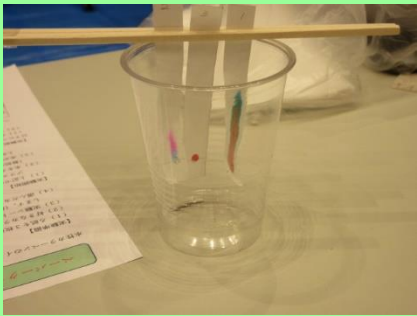
令和7年2月18日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370

子どもサイエンスフェスティバル小田原大会

令和7年2月2日(日)「小田原市生涯学習センターけやき」で今年度最後のサイエンスフェスティバルを開催しました。

当日は冷たい雨が降る中、181名(子ども100名、保護者等81名)が来場してくれました。会場も広く、参加者は6つのブースをゆったりと見学することができ、どのブースでも楽しそうな子どもたちの笑顔であふれていました。出展者の入念な準備と当日のアシスタントや高校生科学ボランティアの協力により、各ブースとも円滑に体験することができたため、アンケートの結果も満足度の平均が4.8(5点満点)と満足度の高い「子どもサイエンスフェスティバル」となりました。今年度、サイエンスフェスティバルに出展された各団体の皆様、アシスタント及び高校生科学ボランティアの皆様に改めてお礼申し上げます。



1 バランスとんぼ	2 ペーパークロマトグラフィー	3 伊志田の実験ミュージアム
公益社団法人 日本技術士会神奈川県支部 重心の原理を利用した工作で、絶妙なバランスで落ちないバランスとんぼに参加者からは「おもしろい!」という声を多数いただきました。	公益社団法人 日本技術士会神奈川県支部 水の毛細管現象を利用して複数の成分に分離する方法を使い水性カラーペンのインクにどのような色が含まれるかを調べました。「実験のようで良かった。」と好評でした。	神奈川県立伊志田高等学校 自然科学部 生徒たちが作成した動物の骨格標本や魚類剥製など数多く展示があり、葉脈標本では「葉の標本を作るのがとても楽しかった。」という声が多くありました。
 	 	 

4 研究者と一緒に スライムを作ろう！	5 箱根火山の 立体模型を作ろう	6 科学部の ワクワク体験コーナー！
WDB 株式会社 エウレカ社	神奈川県温泉地学研究所	神奈川県立青少年センター 科学部
身近にある洗濯のり等を使ってスライムを作りました。子どもたちはオリジナルの色のスライムを作ることができ、大喜びでした。	お弁当のパックのふたを利用した箱根火山の模型を作ることができ、「箱根火山が立体だったからびっくりした！」と大好評でした。	ラジコンコーナーでは大人の方もワクワク参加する姿が見られ、ロケットのブースでは子どもたちが自作したロケットを夢中で飛ばす姿が見られました。
		
		
会場全体の様子		
		

事務局から

今年度も予定していた4回の「子どもサイエンスフェスティバル」をすべて実施することができました。子どもたちが楽しそうに体験する姿を見ることができ、出展してくださった皆様のご協力に本当に感謝しております。

次年度も皆様の「子どもサイエンスフェスティバル」へのご理解とご協力をお願いします。

過日ご案内の通り、2月28日(金)の総会の後に科学講演会を開催します。講演はJAMSTEC海域地震火山部門地震津波予測研究開発センターの満澤 巨彦 氏による「海域における地震津波研究開発の最前線～神奈川発、JAMSTECの取り組み～」です。是非奮ってご参加いただきますようお願いします。

(事務局：奥村、山田、上田、山口)

